

2025 年度事業報告書

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

国際交流事業		
1	IBBY 支部としての活動	ア) IBBY 臨時総会 イ) IBBY アジアパシフィック地域大会（韓国スウォン） ウ) 国際子どもの本の日キャンペーン エ) 日中韓プロジェクト オ) IBBY への協力（年会費の納入/スポンサーとの折衝/チルドレン・イン・クライシス）
2	国際賞等への推薦事業	ア) IBBY オナーリスト イ) IBBY バリアフリー児童図書 ウ) ブラチスラバ世界絵本原画展 エ) アストリッド・リンドグレン記念文学賞
3	国際講演会	ア) IBBY 会長来日
4	派遣・出展事業	ア) 国際ブックフェア（ボローニャ/上海）
調査研究・情報提供事業		
1	JBBY 賞	ア) 第 9 回贈賞
2	図書展	ア) 世界の子どもの本展（9 会場）
3	ブックリストの作成	ア) 「世界のバリアフリー児童図書：IBBY により 2025 年選定図書」 イ) 「おすすめ！ 日本と世界の子どもの本 2026」（日本語版/英語リーフレット）
4	講座・講演会	ア) 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座（2 回） イ) 出版編集セミナー（2 回） ウ) トークイベント「世界の子どもの本はこんなに面白い！」（1 回）
5	会報の発行	「Book & Bread」4 回
6	情報発信	ア) 記者会見・プレスリリース イ) ホームページ ウ) 会員向けメールマガジン エ) SNS・YouTube など
7	協力事業ほか	ア) 他団体への協力（子どもの読書推進会議/太田市ほか） イ) ブラチスラバ世界絵本原画展巡回展 ウ) 後援名義 エ) レファレンス
その他事業		
1	JBBY 希望プロジェクト	ア) 支援活動（図書寄贈/野馬迫文庫ほか） イ) あしたの本だな（図書室整備/訪問ワークショップほか） ウ) 募金活動
2	受託事業	ア) イタリア・ボローニャ世界絵本原画展巡回事務局（3 会場） イ) 山田養蜂場ミツバチの絵本コンクール
3	物販	ア) 50 周年記念『おすすめ！ 子どもの本：新しい時代をつくる 350 冊』の販促 イ) カタログ、イベントの関連図書など
組織・その他		
1	総会・理事会等の開催	総会 1 回（役員の改選）、理事会 6 回
2	役員改選	2 年に一度の役員改選
3	会員活動	ア) 会員交流（Facebook オンラインサロン/LINE オープンチャット/おしゃべり本の虫の会） イ) 会員部活動（ノンフィクションの子どもの本を考える会/おすす

		め翻訳書動画チーム/絵本部/紙芝居部) ウ) 会員勧誘・継続促進
4	財務・労務	ア) 助成金・寄付金ほか イ) 事務局体制の見直し

【国際交流事業】

1. IBBY 支部としての活動

ア) IBBY 臨時総会

臨時総会がオンラインで開催され、宇野会長が出席した。

日時	2025 年 9 月 27 日（土）21:00（日本時間）
出席	50 支部（議決権 86 の 3 分の 1）
可決事項	議案の定款の変更が承認された。これまで National Section と呼んだ支部を IBBY Section（日本語では IBBY 支部のまま）と改める。新定款は、JBBY ホームページ「会員ページ」にアップ。

イ) IBBY アジアパシフィック地域大会

韓国の水原で開催された、IBBY アジアパシフィック地域大会に参加した。

会期	2025 年 8 月 30・31 日
会場	韓国・水原
テーマ	地球とともに生きる（Living in Harmony with Our Planet）
参加者	約 450 名（日本からは 30 名以上）

ウ) 国際子どもの本の日キャンペーン（2026）

（1）世界共通ポスターとメッセージの発信

キプロス支部が制作した 2026 年国際子どもの本の日ポスターとメッセージを日本語版にアレンジし、オンラインで発信するほか、JBBY 会員、全国の公共図書館や関連施設等に配布。

メッセージ（国内用 A4 二つ折り）	文：エレナ・ペリクレウス 日本語訳：武富博子 印刷部数：5,500 部
ポスター（国内用 A2 サイズ）	ポスターアート：サンドラ・エレフセリウ 印刷部数：4,200 部
配布先	会員（650）、全国公共図書館（3400）、関連団体（150）、本の日フェスティバル参加者（300）

（2）記念イベントの実施

「JBBY 子どもの本の日フェスティバル」を開催した。子どもの本にまつわる様々な仕事体験をとおして本の面白さを伝えた。協力：日本出版クラブ ＊子どもゆめ基金助成活動 参加者のべ 500 人

▽対面イベント：2026 年 2 月 23 日（月祝）/日本出版クラブ

日本の子どもの本展示/世界の子どもの本展示	「みんなおいでよ！ 子どもの本の縁日」 多言語おはなし会・本の樹づくり・本さがしゲーム・おうち工作・点字体験・バリアフリー図書体験・ミニ絵本づくり・スタンプラリーなどを楽しんだ。
絵本作家体験	「絵本『あかいてぶくろ』の世界を楽しもう！」講師：岡田千晶
作家体験	「作家・岩瀬成子さんとおはなしをかんがえてみよう！」講師：岩瀬成子
翻訳家体験①	「チェコ語ってどんなことば？」講師：木村有子
翻訳家体験②	「ハングルであそぼう！」講師：神谷丹路

2. 国際賞への推薦

ア) 2026 IBBY オナーリスト（隔年事業）

会員から推薦を募った後、2025 年 8 月と 9 月に国内選考委員が協議し、2026 年 IBBY オナーリスト（3 部門）を選定、IBBY に提出した。

文学作品部門	『スクランブル交差点』 佐藤まどか作／小学館
イラストレーション部門	『ガマ千びきイワナ千びき』 ザ・キャビンカンパニー絵／最上一平作／文溪堂
翻訳部門	『モノクロの街の夜明けに』 野沢佳織訳／ルータ・セペティス作／岩波書店
選考委員	奥山恵、近藤君子、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、神保和子、土居安子、野上暁

■ IBBY オナーリスト（IBBY Honour List）

IBBY が 1956 年から隔年で発行している児童書リスト。文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の 3 部門があり、IBBY に加盟する国と地域が、2 年に一度、ほかの国でも読んでほしいすぐれた子どもの本を選定する。

イ) 2027 年 IBBY バリアフリー児童図書セレクション（隔年事業）

会員から推薦を募った後、国内選考会を実施。2027 年 IBBY バリアフリー児童図書に下記の 9 作品を推薦した。

カテゴリー1 誰もがアクセスできる本	『いち にの さん！』 スギヤマカナヨ作／童心社
	『てんじつきさわるえほん たのしいらくご① まんじゅうこわい』 落語ユニバーサルデザイン化推進協会／多屋光孫絵／合同出版
	『みてみて！』 小西貴士写真／谷川俊太郎ことば／福音館書店
カテゴリー2 障害がある子どもや人物を描いた本	『スマイルカットでみんな笑顔に！ 発達障がいの子どもによりそう美容師さん』 別司芳子文／多田文ヒコ絵／佼成出版社
	『だれよりも速く走る義足の研究』 遠藤謙文／米村知倫絵／偕成社
	『能力で人を分けなくなる日』 最首悟著／中井敦子絵／創元社
	『ほんとうにだいじょうぶ？』 寺田真弓文／森のくじら絵／物語のアトリエ
	『盲導犬大百科② 見えないわたしと盲導犬』 日本盲導犬協会監修／大塚敦子文・写真／ポプラ社
	『やさしいカタチ』 大西暢夫著／彩流社

▽国内選考会

選考会	2026 月 2 月 13 日／出版クラブビル会議室（東京都）
選考委員	相賀昌宏、攪上久子、児玉ひろ美、さくまゆみこ、山田 真

■ IBBY バリアフリー児童図書（IBBY Outstanding Books for Young People with Disabilities）

IBBY は、障害のある子どもも読書の楽しさを享受できるよう、1985 年にノルウェーに IBBY 障害児図書資料センターを設立し、世界の工夫のつまったバリアフリー図書を収集している。現在は、センターをカナダのトロント市立ノースヨーク中央図書館に移し、隔年で加盟各国から推薦図書を募り、さらに約 40 冊を選定してカタログを発行している。「誰もがアクセスできる本」「障害がある子どもや人物を描いた本」の 2 つのカテゴリーがある。

ウ) 2025 年ブラチスラバ世界絵本原画展（隔年事業）

会員から推薦を募った後、国内選考会を実施し、2025 年ブラチスラバ世界絵本原画展に出展する 10 作家 10 作品を選出。本年はスロバキアの情勢を鑑み複製画で出展した。結果、岡田千晶氏の『あかいてぶくろ』が「子ども審査員賞」を受賞した。

あずみ虫	『よかったなあ』 理論社
岡田千晶	『あかいてぶくろ』 小峰書店
軽部武宏	『ヤマピカリヤー 西表島のヤマネコのおはなし』 小峰書店

ザ・キャビンカンパニー	『ゆうやけにとけていく』 小学館
田島征三 (& ルートマニー・インシシェンマイ)	『森の歌がきこえる』 偕成社
100%ORANGE	『ようこそじごくへ』 玉川大学出版部
福田利之	『あのこはね』 ポプラ社
降矢なな	『せっかちなハチドリ』 文溪堂
ミロコマチコ	『みえないりゅう』 ミシマ社
森洋子	『おるすばん』 福音館書店

▽国内選考会

選考会	2025 月 5 月 1 日／出版クラブビル会議室（東京都）
選考委員	西須さおり、野上暁、広松由希子、増田喜昭、松本育子

■ブラチスラバ世界絵本原画展（BIB: Biennial of Illustrations Bratislava）

1967 年に始まった絵本原画の国際コンクール。スロバキアの首都ブラチスラバで隔年に開催される。ひとつの国から参加できる作家は 10 人まで（2023 年から）。国際審査により、グランプリ（1 名）、金のりんご賞（5 名）、金牌（5 名）、出版奨励賞、子ども審査員賞が選ばれる。推薦できるのは、IBBY または UNESCO の支部。

エ） アストリッド・リンドグレン記念文学賞（毎年）

2025 年アストリッド・リンドグレン記念文学賞に、前年に引き続き田島征三氏を推薦した。

■アストリッド・リンドグレン記念文学賞

スウェーデンの児童文学作家アストリッド・リンドグレンの功績を記念し、スウェーデン政府が 2002 年に創設した国際賞。子どもの本の作り手、子どもの本の普及に貢献した人・団体を対象に贈られる。日本で推薦権を有するのは、JBBY と大阪国際児童文学振興財団、日本図書館協会、荒井良二氏（2005 年受賞者）。

3. 国際講演会

ア）IBBY 会長来日記念講演会

IBBY 会長等が来日し講演会を行った。参加者 60 人、取材 12 件。滞在中にスポンサーである朝日新聞社、山田養蜂場とも面談した。

日時	2025 年 9 月 3 日（水）／童心社
演題	困難な世界の中で子どもの本にできること 講師：バサラット・カズィム（IBBY 会長）、カロリーナ・バリュステル（IBBY 事務局長）

4. 派遣・出展事業

ア）ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア（イタリア）

（1）2025 年出展

イタリアで開催されたボローニャ・チルドレンズ・ブックフェアに国際交流基金（JF）と共同ブースを出展した。ブースには、今注目の日本の子どもの本を展示。レセプションや講演会、ポートフォリオレビュー等も行った。出展用に作成したタブロイドや JBBY の英語版おすすめ本リーフレットも配布した。

会期	2025 年 3 月 31 日～4 月 3 日／ブース：Hall 29-C15
プログラム	・ポートフォリオレビュー①～③ ・SDGs ゲームプロジェクトと日本の SDGs 絵本（松岡希代子、柿木原政広、森泉文美） ・日本のあかちゃん絵本（広松由希子） ・絵本美術館について（松岡希代子） ・日本のブース・ブックツアー（広松由希子、柿木原政広） ・レセプション/ボローニャ・ポートフォリオアワード ・駒形克己追悼イベント（松岡希代子、駒形あい他） ・紙芝居実演（野坂悦子） ・フォーラム：東南アジアの絵本（広松由希子他）

	・日本市場への売り込み、編集者の視点から（高野直子） ・日本の絵本ほんやく道場（マリア・エレナ・ティシ、森泉文美）
--	--

(2) 2026 年出展準備

2026 年も国際交流基金との共同ブース出展が叶い準備した。会期：2026 年 4/13～16。

イ) 上海・チルドレンズ・ブックフェア（中国）

ボローニャに出展したコンテンツを中心に上海・チルドレンズ・ブックフェアにも出展した。

会期	2025 年 11 月 14 日～16 日
----	-----------------------

【調査研究・情報提供事業】

1. JBBY 賞（隔年事業）

第 9 回 JBBY 賞の発表と贈賞式を行った。

開催日	2026 年 2 月 23 日
会場	出版クラブホール（東京都）

▽ 受賞者

作家の部門（国際アンデルセン賞・作家賞候補）	岩瀬成子
画家の部門（国際アンデルセン賞・画家賞候補）	荒井良二
文学作品の部門 （IBBY オナーリスト・文学作品部門選出）	安東みきえ／講談社『夜叉神川』
イラストレーション作品の部門 （同・イラストレーション作品部門選出）	田島征彦／童心社『なきむしせいとく』
翻訳作品の部門（同・翻訳作品部門選出）	宇野和美／福音館書店『見知らぬ友』
バリアフリー図書の部門 （IBBY バリアフリー児童図書選定）	・詠里／KADOKAWA『僕らには僕らの言葉がある』 ・読書工房／国土社『読書バリアフリー 見つけよう！自分にあった読書のカタチ』
絵本原画の部門 （BIB 世界絵本原画展・子ども審査員賞受賞）	岡田千晶／小峰書店『あかいてぶくろ』

2. 図書展の開催

ア) 世界の子どもの本展（9 会場）

2024 年 IBBY オナーリストに選ばれた 184 冊（59 の国と地域 52 言語）と、2024 年国際アンデルセン賞を受賞したハインツ・ヤーニッシュとシドニー・スミスの作品を巡回展示した。

3/18～5/25	東京都	国立国会図書館国際子ども図書館
5/1～10	東京都	板橋区立中央図書館
5/20～6/26	東京都	出版クラブビル
7/14～25	愛知県	至学館大学附属図書館
8/9～17	山梨県	北杜市金田一春彦記念図書館
9/12～18	東京都	国際交流基金 本部オフィス
10/4～19	群馬県	太田市美術館・図書館
1/7～15	兵庫県	宝塚市立文化芸術センター

2/3～3/1	福島県	本宮市立しらさわ夢図書館
---------	-----	--------------

3. ブックリストの作成

ア)「世界のバリアフリー児童図書：IBBY による 2025 年選定図書」

IBBY 刊「2025 IBBY Selection of Outstanding Books for Young People with Disabilities」の日本語版を発行した。
IBBY の選定図書 40 冊（24 ヶ国 18 言語）を紹介。翻訳は、会員の各言語専門家に依頼。

AB 判／40 頁／4 色	
発行日	2026 年 3 月 31 日
翻訳協力	愛甲恵子、王玉、片桐早織、神谷丹路、河野万里子、杉本詠美、南平かおり、野坂悦子、村岡直子、よこのなな、横山和江、李麗、脇本美穂
編集協力	植村志保理、上村令、高野直子、堀内まゆみ、横川浩子
デザイン・レイアウト	山崎美紀

イ)「おすすめ！日本と世界の子どもの本 2026」

海外に勧めたい日本の児童書と、日本の子どもたちに読んでほしい翻訳児童書を選定しブックリストを発行した。

AB 判／24 ページ／4 色	
発行日	2026 年 3 月 31 日
選書・執筆	奥山恵、近藤君子、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、神保和子、土居安子、野上暁
表紙画	あべ弘士
編集進行	植村志保理、上村令、高野直子、堀内まゆみ
デザイン・レイアウト	山崎美紀
特別協賛	日本児童教育振興財団

▽ 日本編掲載図書（73 冊・カタログ掲載順）

■ 絵本	
『うみへ やまへ』 偕成社	『おるすばん』 福音館書店
『ごはんのつぶとおこめのつぶ』 アリス館	『すいぞくかんであいましょう』 BL 出版
『まゆとブカブカブー』 福音館書店	『ゆきのこえ』 講談社
『おはなしはどこからきたの？ 南アフリカのむかしばなし』 BL 出版	『きょういちにちのラッタッタ！』 アリス館
『ぼくがここに』 理論社	『よかったなあ』 理論社
『ガマ千びきイワナ千びき』 文溪堂	『ギアナ・夜間飛行』 のら書店
『森の歌がきこえる』 偕成社	『やくそく ぼくらはぜったい戦争しない』 ポプラ社
『勇士アフマド イランのむかしばなし』 BL 出版	『おーい』 ほるぷ出版
『せっせっせっせ』 福音館書店	『パパさんぼ』 文溪堂
『りょこうにいこう』 偕成社	『このほしのこども』 あかね書房
『花売りセンパチュンチュン～ネパール・ヒマラヤのむかしばなし』 BL 出版	『じんせいはしがみついてなんぼです』 フレーベル館
■ 読みもの	
『ちょっとだけともだち』 のら書店	『なんだかちがういぬうえくん』 あかね書房
『パッタマンション』 アリス館	『うちのキチント星人』 フレーベル館
『こそあどの森のひみつの場所』 理論社	『ちいさな花咲いた』 金の星社
『ふみきりペンギン』 あかね書房	「よりぬき日本の昔話（2 冊）」 福音館書店

『わたし、わかんない』 講談社	『カフェ・スノードーム』 アリス館
『この手はいつか』 文研出版	『しじんのゆうびんやさん』 偕成社
『白い虹を投げる』 Gakken	『シノダ！初音一族のキツネたち』 偕成社
『ワルイコいねが』 講談社	『あたたかな手　なのはな整骨院物語』 偕成社
『放課後によむ詩集』 理論社	『みかんファミリー』 講談社
『ハロハロ』 講談社	『ヤングタイマーズのお悩み相談室』 くもん出版
『朝読みのライスおばさん』 理論社	『思いがけず、朝子ちゃん』 童心社
『全校生徒ラジオ』 講談社	『ミルキーウェイ』 新日本出版社
『呼人は旅をする』 偕成社	
■ ノンフィクション	
『おせち』 福音館書店	『たいせつなたまご』 白泉社
『たんぽぽはひとがすき』 ポプラ社	『つめたいこおり　どんなかたち？』 岩崎書店
『クジラがしんだら』 童心社	『テントウムシ　みっけ！』 徳間書店
『ともだち』 あすなろ書房	『エナガのくらし　いつも仲間といっしょ』 文一総合出版
『巨石運搬！海をこえて大阪城へ』 アリス館	『「植物」をやめた植物たち』 福音館書店
『世界の納豆をめぐる探検』 福音館書店	『そうだったのか！カタツムリとナメクジ』 童心社
『ともに生きる』 あかね書房	『ひろい海にぼくたちは生きている』 アリス館
『もしも明日、ぼくの足がなくなったら』 Gakken	『子どもも兵士になった』 童心社
『これから大人になるアナタに伝えたい 10 のこと』 童心社	『障害のある 10 代のための困りごと解決ハンドブック あなたがあなたらしく生きるためのヒント』 現代書館
『隣の国の人々と出会う　韓国語と日本語のあいだ』 創元社	『〈弱いロボット〉から考える』 岩波書店
『シロナガスクジラ』 福音館書店	『工場大ずかん』 偕成社
『地理学者シリアへ行く』 アリス館	『はたらく中華料理店』 創元社
『ぼくの算数絵日記』 福音館書店	『野生生物は「やさしさ」だけで守れるか？』 岩波書店

▽ 世界編掲載図書（61 冊・カタログ掲載順）

■ 絵本	
『あかりをひとつともしてみたら』 光村教育図書	『こぐまのいばしょ』 BL 出版
『しゃっくりガイコツ』 あすなろ書房	『なんていいひ』 小学館
『ネコになりたかったクモのルイージ』 岩崎書店	『ゆきのもりのおくりもの』 岩波書店
『ワニのクロコ』 BL 出版	『あこがれの図書館』 さ・え・ら書房
『あと 2 時間で新年です　ちょうのもようのかさとイランの子どもたちのおはなし』 トップスタジオ H R	『シッゲのおうちはどこ？』 子どもの未来社
『チョウになりたい』 金の星社	『ぼくのひみつのともだち』 あすなろ書房
『わたしのくつしたはどこ？　ゆめみるアデラと目のおはなし』 岩崎書店	『きみは、ぼうけんか』 ブロンズ新社
『ねえ、おぼえてる？』 偕成社	『ぼくはくまのままでいたかったのに……』 ほるぷ出版
『戦争は、』 岩波書店	『キツネザルのあったかいセーター』 徳間書店
『じゃがいもうえたら…』 BL 出版	『ぬすまれたねむねむ』 あすなろ書房
『うえをみて！』 ハッピーオウル社	『海辺の村のパン屋』 BL 出版
『せかいいち大きな女の子のものがたり』 富山房	『まぼろしの巨大クラゲをさがして』 BL 出版

『モリスくんとオレンジいろのドレス』世界文化社	『おおきなて』ひだまり舎
■ 読みもの	
『サメのイエニー』岩波書店	『魔女がやってきた！』徳間書店
『命をつないだ路面電車』小学館	『コメディ・クイーン』岩波書店
『ソリアを森へ マレーグマを救ったチャーンの話』鈴木出版	『ダンス★フレンド』小峰書店
『ぼくたちは宇宙のなかで』評論社	『ぼくのはじまったばかりの人生のたぶんわすれない日々』鈴木出版
『アドニスのが聞こえる』小学館	『この銃弾を忘れない』徳間書店
『ささやきの島』東京創元社	『死の森の犬たち』岩波書店
『スラムに水は流れない』あすなろ書房	『ぼくのはじまったばかりの人生のたぶんわすれない日々』鈴木出版
『ボンジュール、ツール』影書房	『メイジー・チェンのラストチャンス』作品社
『木曜生まれの子どもたち』岩波書店	『闇に願いを』静山社
『煙のように消えるねこ』徳間書店	『バラクラバ・ボーイ』文研出版
『カトーレンの王』小学館	『探検家』ゴブリン書房
『ぼくの中にある光』岩波書店	『夜の日記』作品社
■ ノンフィクション	
『きょうりゅうレントゲンびょういん』パイインターナショナル	『さあ、めがねをかけよう！』偕成社
『宇宙ステーションおしごと大図鑑 宇宙飛行士のすべてを見よう！』河出書房新社	『わたしはみつけた！』子どもの未来社
『あなたの権利を知って使おう 子どもの権利ガイド』子どもの未来社	『ルビーの一步 私たちすべての問題』あすなろ書房
『レオがのこしたこと ヴェステルボルク収容所の子どもたち』静山社	『リーゼ・マイトナー 核分裂を発見した女性科学者』岩波書店
『イグアノドンのはなぜきえた？』岩崎書店	『世界ではじめての女性大統領のはなし』平凡社
『ウクライナ わたしのことも思いだして 戦地からの証言』小学館	

オ)「Japanese Children’s Books 2026」

「おすすめ！ 日本と世界の子どもの本 2026」のうち日本編の英語版。Pdf を JBBY のホームページに掲載し、配布用としてミニリーフレット（B6 判）を印刷。リーフレットは海外のブックフェアや国際会議で配布した。

B6 判リーフレット／4 色	
発行日	2026 年 3 月
表紙画	あべ弘士
翻訳	宇田川エイヴリ、竹森ジニー、平野キャシー
協力	上村令、堀内まゆみ、高野直子、山崎美紀
特別協賛	日本児童教育振興財団

4. 講座・講演会の開催

ア) 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座

国際アンデルセン賞や世界の子どもの本をテーマにした講座を 2 回実施した。＊子どもゆめ基金助成活動。参加者のべ 264 人。

7/5（土）日比谷図書文化館大ホール	「本は不思議への扉」講師：富安陽子
9/7（日）日比谷図書文化館大ホール	「自然を感じる、自然に学ぶ ～絵本ができるまで」講師：あべ弘士

イ）出版編集セミナー（旧・新編集者講座）

若手児童書編集者にとっての学びの場、子どもの本の未来を創る次世代の交流の場となる講座を２回実施した。参加者のべ 537 人。

11/8（土）学研ホール＋アーカイブ配信	「絵本作家 50 年 絵本を語りつくす」 講師：五味太郎 聞き手：谷口高浩（福音館書店編集者）
2/14（土）童心社 KAMISHIBAI HALL＋アーカイブ配信	「子どもの本の創作と翻訳 ＊作家と編集者のフクザツな関係＊」 講師：なかがわちひろ 話し相手：上村令（元徳間書店編集者） 進行：細江幸世

ウ）JBBY トークイベント「世界の子どもの本はこんなに面白い！」

出版クラブビル・クラブライブラリーでの「世界の子どもの本展」開催にともない、選定図書について、翻訳者・研究者等がおすすめポイントを語るリレートークを実施した。＊子どもゆめ基金助成活動。参加者 107 人。

6/17（火）出版クラブビル	講師：愛甲恵子、大作道子、おおつかのりこ、片桐早織、神谷丹路、木村有子、河野万里子、櫻井映子、南平かおり、野坂悦子、松方路子、村岡直子、よこのなな、若松宣子
----------------	--

5. 会報の発行

会報「Book & Bread」を 4 回発行した。

163 号（2025/6）	表紙：かわしまはるこ/インタビュー：詠里/エッセイ：今井恭子
164 号（2025/9）	表紙：オオノ・マユミ/巻頭レポート：富安陽子講演会/エッセイ：真珠まりこ
165 号（2025/12）	表紙：五味太郎/巻頭レポート：IBBY 会長・事務局長 来日記念講演会/エッセイ：申明浩
166 号（2026/3）	表紙：国際子どもの本の日ポスター（キプロス：サンドラ・エレフセリウ）/インタビュー：堀川理万子/エッセイ：こがようこ
仕様	B5 版、36 頁、表紙カラー、本文モノクロ 印刷：TOPPAN クロレ
広告協力	岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、子どもの未来社、至光社、出版文化産業振興財団、小学館、大日本印刷、東京印書館、TOPPAN クロレ、童心社、福音館書店
編集委員	松岡由紀（編集長）、小方桂子、門脇大、高野直子、田中明子、堤嘉代、渡辺舞
デザイン・レイアウト	山崎美紀

6. 情報発信/広報活動

ア）プレスリリース

イ）ホームページ

ウ）会員向けメールマガジン

エ）SNS・YouTube など

ホームページや SNS で情報を発信した。JBBY YouTube チャンネルでは、会員翻訳家が、IBBY や JBBY がおすすめする本を紹介。Facebook や LINE に会員限定のグループを設け交流の場を提供した。

ホームページの会員専用ページでは、会報のバックナンバー、国際アンデルセン賞の推薦資料、講座のアーカイブ等を閲覧できるほか、JBBY 主催イベントの参加費割引コード等も掲載。

ホームページ	https://jbby.org/	
ホームページ（会員専用ページ）	https://jbby.org/password-2	

ホームページ（英文ニュース）	https://jbby.org/category/news/jbby-news-in-english	
プレスリリース	メルマガスタイル	配信先メディア 129
Facebook	@JBBYpi	フォロワー3281（+186）
Facebook オンラインサロン「Book & Bread Cafe」（会員限定）		参加会員 155（+9）
X	@JBBYpi	フォロワー5439（+214）
X（英文専用）	@JBBYpi_en	フォロワー37（+12）
Instagram	@jbby_kodomonohon	フォロワー2850（+365）
YouTube チャンネル	https://youtube.com/c/JBBYkodomonohon	登録者数 515（+67）
LINE オープンチャット「Book & Bread Chat」（会員限定）		登録者数 74（+12）
Peatix	https://jbby.peatix.com	フォロワー4044（+479）

- * プレスリリースは、実行委員会を立ち上げてオンラインでの配信を開始した。
- * オンラインサロンとオープンチャットの参加方法は、ホームページの会員専用ページを参照。
- * 会員専用ページのパスワードが不明な場合は、JBBY 事務局へお問い合わせください。

7. 協力事業（他団体との連携・協力）

ア）他団体への協力

（1）子どもの読書推進会議

民間読書関連団体が結成した「子どもの読書推進会議」構成団体として協力した。野上暁監事が副代表を務めた。

構成団体（順不同）	読書推進運動協議会、全国学校図書館協議会、日本雑誌協会、日本書店商業組合連合会、出版文化産業振興財団（JPIC）、日本児童出版美術家連盟（童美連）、日本図書館協会、日本書籍出版協会、日本出版取次協会、日本児童図書出版協会、日本児童文芸家協会、日本児童文学者協会、JBBY
-----------	---

- （2）太田市美術館・図書館（群馬県）
- （3）国際子ども図書館、ユネスコ、ユニセフほか

イ）巡回展「ブラチスラバからやってきた！ 世界の絵本パレード」

JBBY が選定して BIB2023（ブラチスラバ世界絵本原画展）に出展した日本人作家の原画を中心に、2023 年の受賞作等を紹介する国内巡回展に協力した。（主催：各開催館ならびに朝日新聞社）

3/22～5/18	千葉県	千葉市美術館
5/24～7/6	栃木県	足利市立美術館
7/12～8/31	埼玉県	うらわ美術館
9/13～11/3	神奈川県	横須賀美術館
11/15～2026/1/12	富山県	砺波市美術館

ウ）後援事業

コンクール	ミツパチの一枚画コンクール	世界	山田養蜂場
コンクール	アンデルセンのメルヘン大賞	全国	アンデルセン・パン生活文化研究所
展覧会	たのしいイソップ童話の世界	長野県	軽井沢絵本の森美術館
イベント	上野の森親子ブックフェスタ	東京都	子どもの読書推進会議ほか
展覧会	ヒロシマ・トマト 司修展	東京都	ちひろ美術館・東京
展覧館	てなわけで 20 年。魅惑のチョウ、シンタ展	長野県	安曇野ちひろ美術館

展覧会	イソップ童話とどうぶつ絵本	長野県	軽井沢絵本の森美術館
イベント	とやま元気ワールド・絵本ランド 2025	富山県	とやま元気ワールド実行委員会
展覧会	戦後 80 年 ちひろと世界の絵本画家たち 絵本でつなぐ「へいわ」	東京都	ちひろ美術館・東京
展覧会	けんぶち絵本の里大賞・けんぶち絵本原画展	北海道	剣淵町絵本の館
イベント	ボローニャ・ブックフェア in いたばし	東京都	板橋区
コンクール	いたばし国際絵本翻訳大賞	東京都	板橋区
講座	JPIC 読書アドバイザー養成講座		JPIC
展覧会	ヒロシマ・トマト 司修展	長野県	安曇野ちひろ美術館
展覧会	かたわらには、いつもネコ展～猫でたどる日本のイラストレーション～	愛知県	刈谷市美術館
講演会	日本ペンクラブ 90 周年記念事業「地球環境の危機と子どもの本」	東京都	日本ペンクラブ
イベント	沖縄県子どもの本研究会全国大会	沖縄県	沖縄県子どもの本研究会
展覧会	魔法の絵本	長野県	軽井沢絵本の森美術館
展覧会	96 才、画家。ユゼフ・ヴィルコン。ポーランドの巨匠	長野県	安曇野ちひろ美術館
展覧会	生誕 120 年『てぶくろ』の画家ラチョフと民話絵本の世界	東京都	ちひろ美術館・東京
展覧会	ピーターラビットとなかまたち	長野県	軽井沢絵本の森美術館

エ) レファレンス

子どもの本関連の問い合わせに対応

【その他の事業】

1. JBBY 希望プロジェクト

IBBY チルドレン・イン・クライシスの精神に則り、日本国内の困難な状況にある子どもたちに本を通じた支援活動を行った。

ア) 支援活動

(1) 野馬迫文庫

図書の寄贈：福島県南相馬市の児童施設（小高交流センター、おだか認定こども園、聖愛こども園、聖愛ちひろば園、マチエール）に季節の本を 3 回送付した。

■ 野馬迫文庫

2011 年東日本大震災の後、南相馬市の仮設住宅に毎月本を送るプロジェクトからスタート。

(2) 本の寄贈

要請に基づき、下記 2 施設へ図書を寄贈した。寄贈本を決める際、「あしたの本だな」セットを貸し出して施設の子どものために選んでもらった。

新潟大学小児病棟（新潟県）	32 冊
NPO 法人おおさかこども多文化センター（大阪府）	18 冊

(3) 避難してきた子どもたちへ本のプレゼント
2025 年度はリクエストがなかった。

イ) あしたの本だな

(1) 実行委員有志が、東日本少年矯正医療・教育センター（東京都）の図書室整備と定期おはなし会に協力した。
(2) CBGM こども財団の助成活動として、村中李衣氏が、沖縄・東京・北海道の3施設に訪問ワークショップを実施した。

いっばの会/ノアーズ・ガーデン（沖縄県）	2026 年 2/14～16
東日本少年矯正医療・教育センター（東京都）	3/10
Re～らぶ（北海道）	3/30

ウ) 募金活動

希望プロジェクトの支援活動に限定した寄付を募った。2025 年度は総額 115,060 円を集めた。

■ 募金口座
三井住友銀行 飯田橋支店
普通口座 0826819
名義：ニホンコクサイジドウシヨヒョウギカイ

■ JBBY 希望プロジェクト
東日本大震災後、子どもの本に関わるいくつかの団体とともに立ち上げた「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト; 2011-2016 年」で培った経験や反省をいかし、日本国内のさまざまな困難を抱える子どもたちに目をむけ、本の力で希望ある未来を届けようと、JBBY が 2017 年に発足。

2. 受託事業

ア) イタリア・ボローニャ国際絵本原画展（受託事業 3 会場）
ボローニャで開催される「イラストレーター展」の入選作品を紹介する国内巡回展の事務局を務めた。

6/27～8/11	東京都	板橋区立美術館
8/16～10/13	兵庫県	西宮市大谷記念美術館
11/7～12/14	石川県	石川県七尾美術館

イ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」（受託事業）
山田養蜂場主催「ミツバチの絵本コンクール」の予備審査を受託した（新規）。従来通り、最終審査には、植村志保理理事、村松茂理事、細江幸世氏が協力した。

3. 物販

50 周年記念出版『おすすめ！子どもの本：新しい時代をつくる 350 冊』（小学館刊）を仕入れ販売した。
カタログやイベントの関連図書を販売（手配）した。

【組織・その他】

1. 総会・理事会等の開催

理事会を 6 回実施した。総会は事前に会員から書面議決書と委任状を集め、役員だけが出席してオンラインで実施。
報告会と親睦会を行った。

4/8（火）	第 1 回理事会 オンライン	出席 18 名 総会資料の件/役員改選の件/ 2025 年度子どもゆめ基金の件 ほか
6/25（水）	第 55 回定時総会	議決権の数 593 出席（委任状含）238/ 書面議決書 156 2024 年度事業報告の件/ 2024 年度決算報告の件/ 2025 年事業計画 と予算書の件/ 役員の選任に関する件 ・総会后、会員交流会
7/18（金） リアル/オンライン	第 4 回理事会	出席 15 名 組織・担当理事の件/入退会の件/IBBY 会長・事務局長来日の件 /IBBY アジアパシフィック地域大会の件 ほか
8/20（水） オンライン	第 5 回理事会	出席 15 名 IBBY オナーリスト選定の件/IBBY 臨時総会の件/IBBY-UNESCO 新 プロジェクトの件/入退会の件/CBGM 財団からの助成金の件ほか
10/21（火） オンライン	第 6 回理事会	出席 16 名 2026 年度助成金申請（子どもゆめ基金）の件/IBBY 会長来日の報告 /IBBY オナーリスト選定の件/入退会の件 ほか
12/9（火）	第 7 回理事会	出席 17 名 子どもの本の日フェスティバルの件/JBBY 賞贈賞式の件/IBBY バリ アフリー児童図書推薦の件ほか
1/28（水）	第 8 回理事会	出席 13 名 JBBY 平和賞の件/IBBY アジアパシフィック地域大会の件/2026 年 度事業計画・予算案/総会ほか
3/26（木）	第 9 回理事会	

2. 役員改選

■ 2025・26 年度の役員（2025 年 6 月から 2 年間）

会長	宇野和美（翻訳家）
副会長	おおつかのりこ（翻訳家）
副会長	高野直子（編集者、国際出版）
専務理事	土居安子（大阪国際児童文学振興財団総括専門員）
理事	植村志保理（西村書店編集者）
理事	上村 令（編集者）
理事	西須さおり（学芸員）
理事	笹岡智子（東京子ども図書館）
理事	塩見 亮（講談社第三事業本部児童図書出版部長）
理事	代田 知子（日本子どもの本研究会会長）
理事	舘野 鴻（画家、絵本作家）
理事	那須田 淳（作家）
理事	堀内まゆみ（編集者）
理事	松岡由紀（岩崎書店取締役）
理事	松本育子（刈谷市美術館館長代理）
理事	村松 茂（小学館第二児童学習局プロデューサー）
理事	山形昌也（福音館書店取締役書籍編集部長）
理事	和田 直（翻訳家）
監事	竹迫祐子（いわさきちひろ記念事業団理事）
監事	野上 暁（日本ペンクラブ副会長）

監事	増田喜昭（子どもの本専門店店主）
----	------------------

■ 事務局（東京都千代田区神田神保町 1-32）

鳥塚尚子（事務局長）、齊藤美穂、八木恭子（非常勤）

3. 会員活動

ア）会員交流の場（会員限定）

Facebook オンラインサロン「Book & Bread Cafe」	参加会員 155（+9）
LINE オープンチャット「Book & Bread Chat」	登録者数 74（+12）
おしゃべり本の虫の会（オンライン）	① 12/15「どうする、どうなる、翻訳本!？」 ② 3/6「子どもの本って何の役に立つの？」

イ）会員主導の部活動（会員限定）

ノンフィクションの子どもの本を考える会	① 11/4（読書会）大西暢夫作品を読み合う～『ひき石と24丁のとうふ』『和ろうそくは、つなぐ』『やさしいカタチ』を中心に年数回オンラインで実施
おすすめ翻訳書動画チーム	「おすすめ世界の子どもの本」の掲載図書を翻訳者が YouTube で紹介 https://www.youtube.com/@JBBYkodomonohon
絵本部	① 10/3 遠足・刈谷市美術館 ② 12/28 遠足・板橋区立美術館 ③ 3/31 遠足・ちひろ美術館・東京+東京子ども図書館
紙芝居部	① 6/19「IBBY と紙芝居」 ② 12/16「IBBY 韓国大会での発表報告、様々な紙芝居の実演を楽しむ」 ③ 3/24「紙芝居で世界をつなぐ」

4. 財務・労務

ア）助成金・寄付金（助成金の申請・遺贈窓口の検討・寄付集め）

イ）事務局体制の見直しを行った。